

GSTC サステナブルツーリズム研修プログラムを実施しました

「世界から選ばれ続ける東京」であるために、公益財団法人東京観光財団(以下「TCVB」という)では、持続可能な観光・ビジネスイベント開催都市を目指した取り組みを進めています。

この度、令和5年度より発足した [TCVB Sustainable Tourism Partnership](#) にご参加の賛助会員(38 社・団体)の皆様を対象とした、GSTC サステナブルツーリズム研修を実施しました。

【実施概要】

研修名:GSTC サステナブルツーリズム研修プログラム

期間:令和 7 年 10 月 29 日(水)~31日(金)全3日間

対象:TCVB Sustainable Tourism Partnership にご参加の企業・団体等より21名

共催:GSTC、公益財団法人東京観光財団

講師:GSTC公認トレーナー 二神 真美 氏 (名城大学名誉教授・シニアフェロー)

【GSTCサステナブルツーリズム研修とは】

[GSTCサステナブルツーリズム研修プログラム\(STTP\)](#) | [GSTC \(gstcouncil.org\)](#)

本研修は、旅行・観光のサステナビリティにおける国際スタンダードを策定する国際非営利組織 Global Sustainable Tourism Council(略して GSTC)によって提供されます。GSTC スタンダードは、大きく分けて、ホテル・旅行会社を対象とした産業用、自治体や DMO 等を対象とした地域用に、「マネジメント」「社会経済」「文化」「環境」の 4 種類について、取り組むべき項目を示しています。

研修は、産業向けスタンダード(GSTC-I)、観光地域向けスタンダード(GSTC-D)の 2 種類に関する座学と、それをもとにしたフィールドワークで構成されます。3 日間の研修を終えると、GSTC から公式の修了証が交付されます。

本研修の目的のひとつが座学で学ぶ GSTC スタンダードを実際の地域の現状や課題に当てはめ、具体的に対策を学ぶことにあります。今回は、中央区観光協会より、佐藤観光ゼネラルプロデューサーにもご講演いただき、旅行者にも人気のエリアが多い中央区の現状を学ばせていただきました。

1・2 日目の座学に続き、3 日目のフィールドワークでは、銀座エリアを訪れました。銀座通連合会のご協力のもと、同会顧問の竹沢えり子様に銀座のまちづくりについてご講演いただいた後、約 1 時間かけて実際に街をご案内いただきました。ご講演では、地区計画銀座ルール(通りごとの建物の高さ、容積率等を定めたもの)や、[銀座デザイン協議会](#)のお取組などを紹介いただきました。

銀座デザイン協議会は、建築物等の新築・増築・改築・大規模修繕や、壁面広告や屋上広告等の広告デザイン用途変更に伴って、銀座街づくり会議が[銀座デザインルール](#)に則って協議するものです。銀座らしい街並みやその雰囲気や活気を守るために、毎年多くの申請内容を確認・協議されています。

このほかにも、銀座エリアで活動される[業界団体](#)、[通り会](#)、[町会等](#)が緊密に連携しながら、様々な活動に

取り組まれています。GSTC スタンドールのカテゴリの一つは、「持続可能なマネジメント」ですが、銀座ブランドを守るための皆様の活動を通して、地域経営の実態を具体的に理解する場をご提供いただけたことは、大きな学びとなりました。

3 日間の研修を終え、参加者の皆様からは、以下のようなご感想が寄せられました。

- 最新動向を踏まえた具体事例が、基準ごとに、非常に豊富に示されていた。
- グループディスカッションにて他の業種の方と意見交換ができた。
- 同業他社の取組について学ぶことができた。
- 商品企画や自社のサステナブルな取組への提案が可能になると思った。
- サステナビリティと言われても、何がゴールか分かりにくい中、(GSTC スタンドールは)一つの指標として使える基準を示しているの、出来ている／出来ていないことを外部へ説明し易くなったと思った。
- 実際に街づくりに携わっている方からの講話を聴き、加えて、街を歩きながら説明いただいたことで、より深く取組をイメージすることができた。
- 銀座の文化を守る実践をしている人の話を聞いたことが良かった。

今後も TCVB では、持続可能な観光に関わる観光関連事業者・団体の皆様同士の連携や、学びの場を創出して参ります。



1



2



3



4

1:中央区観光協会によるご講演 2:フィールドワーク出発前の集合写真

3、4:竹沢顧問のご案内による銀座街なか視察(GINZA SIX も銀座デザイン会議で協議されたそうです！)